

# 令和6年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和5年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	救急医療対策事業			事業番号	011-173
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①地域医療体制の充実		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	無	取組	—	ターゲット	—

#### 事業の概要

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 47 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市救急医療対策事業運営費補助金交付要綱			
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、市外郭団体			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	医療機能が低下する休日・夜間に初期急病（歯科）診療を運営する公益財団法人堺市救急医療事業団、一般社団法人堺市歯科医師会及び入院治療等が必要な重症緊急患者等の受け入れを行う救急告示病院（精神科のみの診療を行う病院を除く22病院）	対象数	24	単位 団体
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	休日・夜間等の医療の確保等により地域の救急医療体制を確立し、市民の生命の安全確保及び健康保持増進に寄与すること。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>・公益財団法人堺市救急医療事業団（以下「事業団」という。）に対し、こども急病診療センター（小児科）及び泉北急病診療センター（内科）の運営に係る補助金を交付。事業団は、両センターに出務する医師及び薬剤師を医師会等関係団体の協力を得て確保し、また重症患者等を後送する病院の確保を行うなど休日・夜間の適正な医療提供を行っている。</p> <p>◆診療受付時間                      こども急病診療センター                      平日 20:30～翌朝4:30 土曜日 17:30～翌朝4:30                      日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～翌朝4:30                      泉北急病診療センター                      土曜日 17:30～20:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～20:30</p>			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>・救急搬送等を受け入れる二次救急医療機関及び歯科急病診療を行う一般社団法人堺市歯科医師会に対する補助金の交付により地域救急医療体制を確立。</p> <p>・大阪府、大阪市との共同事業による周産期医療体制の確保。</p> <p>・二次救急医療機関との情報共有、意見交換による連携強化。</p> <p>・市民の適正受診に向けた啓発活動。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益財団法人堺市救急医療事業団ほか			
10	公民連携・協働事業				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度
	救急受診者数 (初期・二次・三次救急)	人	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	—	—	—
			実績値	99,523	99,025	—
達成率	—	—	—	—		
	当該指標を選定した理由	救急医療提供の成果物として、主要かつ客観的な指標であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	急病患者への医療提供にかかる指標であることから、目標値を設定し達成率を測ることに適さない。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	救急告示病院連絡会開催回数	回	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	2	2	2
			実績値	2	2	—
達成率	100%	100%	—	—		
	当該指標を選定した理由	本市主催で定期的に連絡会を開催し、初期、二次、三次救急医療に関する情報を、二次救急医療機関と行政、消防で共有し、市内の円滑な救急医療提供体制の構築を図っているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	救急告示病院連絡会開催予定回数（年2回）				

## 令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	救急医療対策事業	事業番号	011-173
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

	項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
		決算		決算		当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	405,983		426,152		366,090	365,478	226,774
13	財源							
	国支出金							0
	府支出金	16,800		16,798		16,868	16,662	16,800
	市債							0
	その他 ( )							0
	内訳							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	36,692		36,571		36,353	36,589	36,534
	一般財源	352,491		372,783		312,869	312,227	173,440
14	人件費 (b)	9,840		9,840		9,720	12,150	12,150
15	年間経費(c)=(a)+(b)	415,823		435,992		375,810	377,628	238,924

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

	項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
		R5	決算	R6	予算			R5	決算	R6	予算	
16	事業費内訳	救急医療対策事業運営費補助金	R5	決算	354,301	301,050	土地借上料	R5	決算	5,956	5,956	5,956
			R6	予算	212,926	159,592		R6	予算	5,956	5,956	
	印刷製本費	R5	決算	66	66	会場等借上料	R5	決算	0	0	0	
		R6	予算	100	100		R6	予算	17	17		
	施設等修繕料	R5	決算	0	0	周産期緊急医療体制整備事業負担金	R5	決算	4,789	4,789	4,789	
		R6	予算	2,500	2,500		R6	予算	4,789	4,789		
	通信運搬費	R5	決算	36	36	性暴力被害者ネットワーク協力医療機関支援負担金	R5	決算	300	300	300	
		R6	予算	82	82		R6	予算	300	300		
	筆耕翻訳料	R5	決算	0	0	その他	R5	決算	30	30	30	
		R6	予算	66	66		R6	予算	38	38		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

	区分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 救急受診者数 (初期・二次・三次救急)	人	99,523	99,025
	② 上記①にかかる年間経費	千円	394,666	336,125
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,966	3,394
備考 (算出についての説明等)		年間経費については、堺市救急医療対策事業運営費補助金 (歯科急病診療事業を除く) に補助金事務にかかる人件費を加えたもの		

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>令和5年度の救急受診者数は令和4年度と同程度だったが、内訳は初期救急受診者数が6,358件 (約37%) 増加し、二次・三次救急受診者数が6,856件 (約9%) 減少した。新型コロナウイルス感染症蔓延時は二次救急医療機関でも発熱患者の対応をしていたが、令和5年度に5類感染症へ移行し、発熱患者は従来通り初期救急医療機関で対応する体制へ戻ったためと考えられる。補助金を減額したことで単位当たりの経費も減少した。各医療機関の役割分担や連携により、救急医療体制を確保したことは評価できる。</p>
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>本事業により、初期救急医療機関の運営及び二次、三次救急医療機関の補助を実施することで、市内における救急医療体制の確保を達成した。受診可能な医療機関が少なくなる休日・夜間の救急医療体制を確保することは、地域医療体制の充実に必要不可欠であり、堺市基本計画2025における「①地域医療体制の充実」に寄与したと評価する。</p>
----	---